

## カジノ・小中統廃合・高校移管強行

### 教育振興基本計画

# 教育への「不当な支配」

カジノを核とする統合型リゾート（IR）を夢洲に誘致する「区域整備計画」の国への申請に同意を求め、3月24日府議会、29日大阪市会が可決されました。

誘致計画は、①夢洲の土壌対策に790億円もの公費支出を約束するなど際限なく膨れ上がる公費負担、②コロナ禍の広がりをはじめ前提条件が大きく崩れているにもかかわらず、無謀な事業計画、③カジノ業者言いなり「協定書」です。

誘致中止を求める緊急署名が10万余提出され、反対世論の高まりの中で自民市議団が反対、府でも自民党を離脱し反対に回る議員が出ました。国への申請・国の認可を許さない運動が続きます。

### 6小学校 統廃合強行

大阪市立高校22校、咲くやこの花・水都国際中学校が府移管されました。

生野区では3月中旬下旬に「えっ！開校しても11月末まで工事中 遠い『通学路』は危険だらけ」子どもたちの命をまもるために、強行突破は立ち止まり、問題解決にむけた丁寧な話し合いを求めました。

子どもたちの命をまもるために、強行突破は立ち止まり、問題解決にむけた丁寧な話し合いを求めます。

子どもたちの教育環境をよくなることを願った学校統廃合は、生野区では11月末という異例の期にならざるを得ない状況です。教育現場の悲しみは計り知れません。

子どもたちの命をまもるために、強行突破は立ち止まり、問題解決にむけた丁寧な話し合いを求めます。

子どもたちの命をまもるために、強行突破は立ち止まり、問題解決にむけた丁寧な話し合いを求めます。

## ガープラだより 4月



大阪市教の「教授突破講座」は、働きながら教採合格をめざす講師のみならず、を励ますことを目的に取り組んでいきます。講師（非正規）は、現場で学級担任、特別支援、教科の担当など、教諭（正規）

と全く同じ仕事をしながら、正規採用をめざして必死で準備をしています。

「定数内講師」は当たり前。産育休などの代替職員はなかなか決まらない。現場の教職員が少なくなり、私たちはさら

一切責任はありませぬ。だからこそ正規・非正規関係なく、私たちが忙しなくしている原因を考え、声を上げていくことが大切です。教育現場で起こっていることを正しく理解するために、仲間とともに「学び・考え・交流」することが必要です。「教育に臨時教職員は運動を広げていきます。

## 市労組連 定年引上げ提案 交渉、事務折衝

市労組連は3月9日、中央委員会で春闘要求を決定、17日に提出。不妊治療特別休暇実現に続き、要求実現を目指します。

市当局は3月24日、「定年引上げに係る各種制度について」を提案。定年を段階的に引上げ65歳（23～24年度61歳）、給料は7割水準、定年前再任用短時間勤務の導入、引上げ期間中の定年退職者等の再任用（暫定再任用制度）など、国家公務員と同様の内容です。

提出した要求「長時間勤務解消、業務軽減、給与水準の維持（同一労働同一賃金）、現行55歳昇給停止の廃止、定数外とする、定年前再任用短時間勤務の選択保障などの実現をめざして事務折衝を行います。

## 労働条件交渉 妊娠障害休暇14日に パワハラ 超勤解消を

労働条件・専門部交渉を3月17日、22日に行いました。

女性部は、出産育児に関する問題で改善が行われていないため、同じ要求を出し続けなければならぬことを強い怒りをもって訴えました。

春闘要求決定の中央委は3月9日

労働条件・専門部交渉を3月17日、22日に行いました。

体を14日にする制度改正が必要だ。大阪府で働く女性の健康を守るのは当然」と強く訴えました。

青年部は、パワー・ハラスメントや超勤の削減を求めました。「男性教員が育休を申請したら校長から断られた」「研究授業は勤務時間外の会議や準備が当たり前など、教職員の権利が守られていない実態を明らかにしました。市教委は『学校園におけるパワー・ハラスメント防止の指針』をもとに対応すると回答。『指針』はS K I Pで閲覧可。

米養教職員部は、調理業務の民間委託について、給食水準の低下がないように責任を果たすこと、配分量が多い中学校の食器を大きくすることなどを求めました。給食費については「令和4年度も引き続き無償」との回答がありました。

たんぽぽ会議を3月30日に開きました。なかなか集まらなかった一年でしたが、年度末さくばらんに話ができる機会をつくりたいと思ひ、青年同士が集まって今年の職場でのできごとを交流し

り前のようにさせられていないと感じました。同時に、勤務時間外で働くことが当たり前にさせられているのだからとつくづく実感します。そんな「自己責任」に追い込まれている職場環境を少しでもよくするために、青年部のたんぽぽ会議で職場での悩みや言いたくても

「新任研修のレポートが大変」「動画を通勤中や土日で観ている」「金が出るからクラブ顧問をしろ」など、勤務時間中にできる業務量を軽く超え、忙しいことが、さも当然

の検証結果を明らかにすることを訴えましたが、市教委はそのメリットについて全く答えられませんでした。

臨時教職員部は、講師1級・教諭2級の「給与格差」は現場で「大きな矛盾」を生んでいることを訴えました。回答では、京都市や神戸市では、一部の講師に「2級」が適用されていることが明らかになりました。



障害児教育部は、講師不足が続く中で特別支援学級担任が学級担任の代替をす

「主任」業務について発言。担任の他に

2022年度 本部執行部	
役員 名前	役員 名前
宮城 登	田中 幸恵
諫早 健義	吉岡 朋生
覚道 康代	三上 瑞穂
三木 雅義	吉田 雅子
中林真理子	中路龍太郎
城 寿美香	河本 優子
図書 知子	
執行委員長 宮城 登	執行委員長 田中 幸恵
執行委員 諫早 健義	執行委員 吉岡 朋生
執行委員 覚道 康代	執行委員 三上 瑞穂
執行委員 三木 雅義	執行委員 吉田 雅子
執行委員 中林真理子	執行委員 中路龍太郎
執行委員 城 寿美香	執行委員 河本 優子
執行委員 図書 知子	
書記長 覚道 康代	書記長 三上 瑞穂
副書記長 中林真理子	副書記長 吉田 雅子
書記次長 城 寿美香	書記次長 中路龍太郎
会計委員 図書 知子	会計委員 河本 優子

## たんぽぽ だより 4月

たんぽぽ会議を3月30日に開きました。なかなか集まらなかった一年でしたが、年度末さくばらんに話ができる機会をつくりたいと思ひ、青年同士が集まって今年の職場でのできごとを交流し

り前のようにさせられていないと感じました。同時に、勤務時間外で働くことが当たり前にさせられているのだからとつくづく実感します。そんな「自己責任」に追い込まれている職場環境を少しでもよくするために、青年部のたんぽぽ会議で職場での悩みや言いたくても

いね！